



株式会社ユーフォリア 会社紹介資料



2017年4月
株式会社ユーフォリア

企業概要と沿革

企業概要

会社名	株式会社ユーフォリア
所在地	〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 9F
設立	2008年8月
マネジメント	橋口寛（代表取締役CEO） 宮田誠（代表取締役COO/CMO）
現在の主たる事業領域	- スポーツ領域におけるシステム開発・保守（コンディショニング管理・傷害管理をはじめとする各種データベース） - スポーツ領域における各種コンサルティング・実行支援業務（スポーツマーケティング・パフォーマンス改善支援） - スポーツデータサイエンス

沿革

年	展開
2008	- 創業 - 大手企業向け新規事業立ち上げ等のコンサルティング、PEファンドアドバイザー・企業再生ハンスオン支援など行う
2012	ラグビー日本代表チームからの依頼に応じてW杯に向けて強化していくためのS&C(Strength & Conditioning)システム「One TAP RUGBY」開発
2014	- 傷害管理データベース、コンディショニング管理データベースを一般向け販売開始 - アイスホッケー日本代表他での利用開始
2015	ラグビー日本代表チームがイングランドW杯で南アに勝利するなど3勝を挙げる
2016	リオ五輪で、サッカー・ラグビー(男女)他の競技でONE TAP SPORTS利用

One TAP SPORTS

ONE TAP SPORTSは、マルチデバイスで利用できるクラウドベースのシステムです。



One TAP SPORTSメディア掲載例



ONE TAP SPORTSが利用されている競技分野

ONE TAP SPORTSは、現在28競技の約200数十チームで利用されています(うち8競技では日本代表チームで利用)。

チームスポーツ

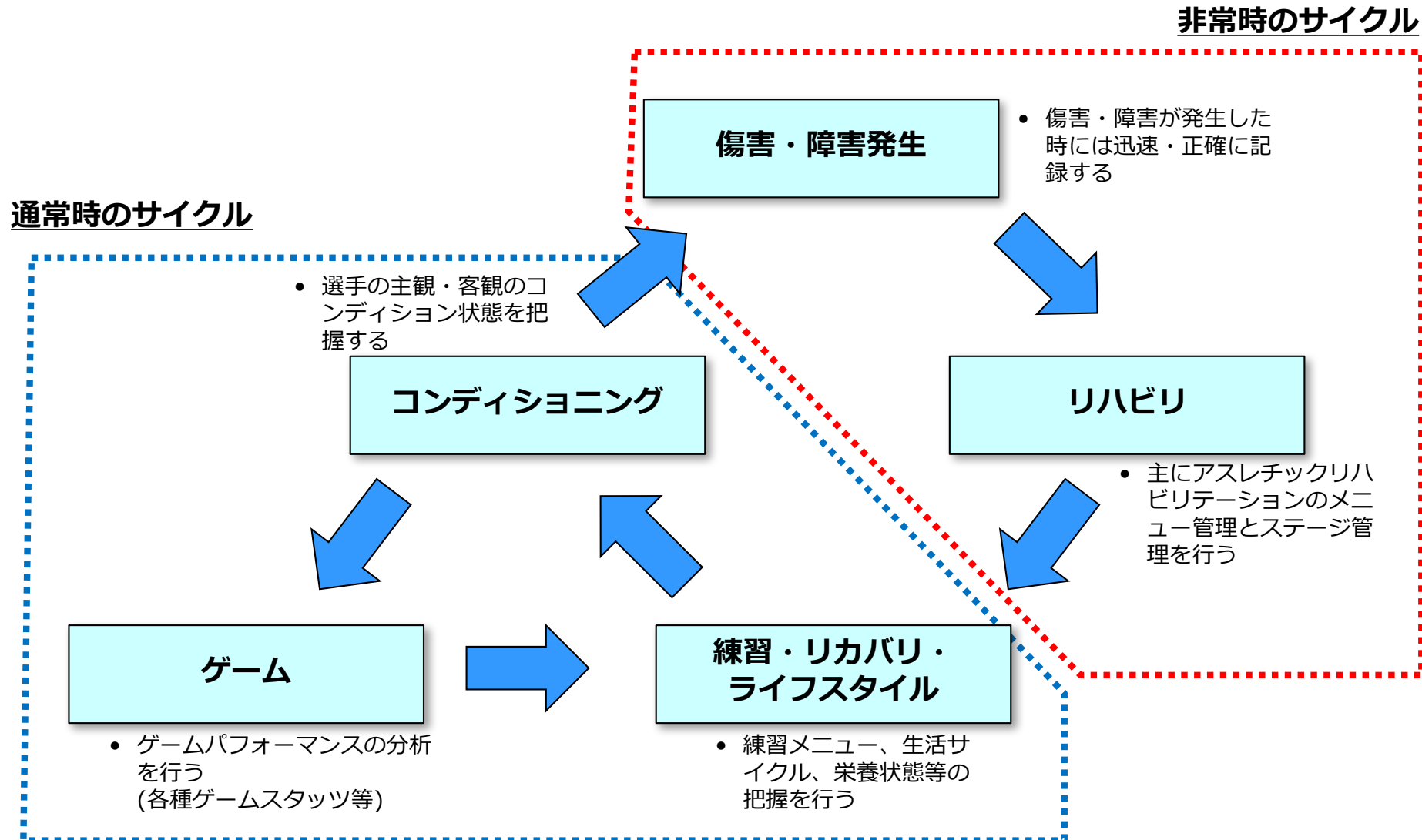
ラグビー	アイスホッケー
サッカー	バレーボール
野球	ハンドボール
ソフトボール	アメリカンフットボール
ブラインドサッカー	バスケットボール
ラクロス	フットサル
セパタクロー	グラウンドホッケー

個人競技

テニス	水泳
陸上競技 (投擲・短距離・長距離)	自転車競技
柔道	ウィンドサーフィン
剣道	サーフィン
空手	スラックライン
ボクシング	ボート
ゴルフ	スキー(クロカン)

ONE TAPシリーズがカバーする全体像

スポーツにおける通常時・非常時両方のサイクルをカバーし、「ハイパフォーマンスの発揮」「ケガの予防」「迅速な復帰」の実現に寄与します。



スポーツデータ利活用に向けた現状の課題

あくまで一事業者としての視点ですが、スポーツデータ利活用に向けては「量」と「質」の両面で課題が存在していると考えています。

現在の課題

量の問題

- スポーツデータが事業者単位、競技団体単位、チーム単位でデータが分かれている
- スポーツデータの量がなかなか増えていかない



課題解決のための対応案

- スポーツデータのオープンデータ化のためのルールづくり
- 匿名処理されたデータにアクセスできるようにする

質の問題

- せっかくデータが存在していても、基準がバラバラであり比較が難しい
- パフォーマンスの定義、傷害・障害データの基準、疲労度の定義、睡眠の質等々)



- 主要な項目についての一定のガイドラインづくり
- 横比較を容易にする

EOF